

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
メタボを活用した健康シンドローム管理を実践し、該当者・予備群を減らすために、健康診査	1 新宿区特定健康診査受診率	31.5%	平成22年度法定報告	50% ※第二期新宿区特定健康診査等実施計画に基づく	33.7% (法定報告値)	新宿区の被保険者の流動性の高さ、健康診査に対する関心の低さから、目標達成は難しい。今後も引き続き受診勧奨はがき、電話勧奨を実施し、受診意欲を促し、受診率の向上を図る。	33.0% (法定報告値)	新宿区の被保険者の流動性の高さから、目標達成は難しい。健康実施機関を医療機関に一元化したことの周知を徹底し、区民にとって分かりやすく、受診しやすい体制を継続し、受診勧奨はがき及び電話受診勧奨等の未受診者対策により受診者数の増加を図る。	34.6% (法定報告値)	新宿区の被保険者の流動性の高さから、目標達成は難しい。健康実施機関を医療機関に一元化したことの周知を徹底し、区民にとって分かりやすく、受診しやすい体制を継続し、受診勧奨はがき及び電話受診勧奨等の未受診者対策により、受診者数の増加を図る。	33.8% (実数値) (法定報告値11月中旬確定予定)	新宿区の被保険者の流動性の高さから、目標達成は難しい。健康実施機関を医療機関に一元化したことの周知を徹底し、区民にとって分かりやすく、受診しやすい体制を継続し、受診勧奨はがき及び電話受診勧奨等の未受診者対策により、受診者数の増加を図る。	健康部健康づくり課 健診係
	2 新宿区特定保健指導実施率	8.9%	平成22年度法定報告	40% ※第二期新宿区特定健康診査等実施計画に基づく	12.5% (法定報告値)	実施機関数の減少、利用時間が限定されることから、目標達成は難しい状況である。利便性の拡大及び保健指導プログラムの充実により、実施率向上を図る。	7.7% (法定報告値)	平成25年度より民間事業者を導入し、保健指導プログラムの充実や利便性の向上により実施率の向上を図っている。目標値が高いため達成は難しい状況である。	14.1% (法定報告値)	平成25年度より民間事業者を導入し、保健指導プログラムの充実や利便性の向上により実施率の向上を図っている。目標値が高いため達成は難しい状況である。	未確定 (法定報告値11月中旬確定予定)	平成25年度より民間事業者を導入し、保健指導プログラムの充実や利便性の向上により実施率の向上を図っている。	健康部健康づくり課 健診係
	3 メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率	計4,075人 (内訳) 該当者2,334人 予備群1,741人	平成20年度 該当者及び予備群実数	平成20年度比 10%減 該当者2,101人 備群1,567人	計4,770人 (内訳) 該当者2,584人 予備群2,186人 (平成24年度健診データ)	メタボリックシンドローム該当者・予備群の該当者は増加傾向であり、達成は難しい状況である。今後、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	計4,708人 (内訳) 該当者2,538人 予備群2,170人 (平成25年度健診データ)	平成24年度よりやや減少したが、目標値が高いため達成は難しい状況である。引き続き、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	計4,873人 (内訳) 該当者2,828人 予備群2,045人 (平成26年度健診データ)	平成25年度より予備群はやや減少したが、該当者は増加した。目標値が高いため達成は難しい状況である。引き続き、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	計4,958人 (内訳) 該当者2,894人 予備群2,064人 (平成27年度健診データ)	平成26年度より該当者、予備群ともに増加した。目標値が高いため達成は難しい状況である。引き続き、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	健康部健康づくり課 健診係
運動・スポーツ活動の習慣化を推進します	4 スポーツ・学習活動等を実施している人の割合	52.7%	平成23年度 区政モニターアンケート	60%	48.7%	現状数値と比較すると4ポイント下回っており、目標値(60%)には11.3ポイント達していない。	54.2% (平成25年度第4回新宿区区政モニターアンケート)	平成24年度より5.5ポイント増加した。引き続き目標値(60%)達成を目指す。	52.9% (平成26年度第4回区政モニターアンケート)	平成25年度と比較すると、1.3%下回っているが、平成24年度と比較すると、4.2%増加している。引き続き目標値(60%)達成を目指す。	57.7% (平成27年度第4回区政モニターアンケート)	平成26年度と比較し、4.8%増加している。引き続き目標値(60%)達成を目指す。	地域振興部 生涯学習スポーツ課
	5 区立スポーツ施設利用者数(年間)	1,587,544人	平成22年度 【対象施設】 (1)新宿スポーツセンター (2)新宿コスミックスポーツセンター (3)大久保スポーツプラザ (4)元気館	1,637,000人	1,076,883人 (1)新宿スポーツセンター 341,631人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 576,416人 (3)大久保スポーツプラザ 79,777人 (4)元気館 79,059人	プール、大小体育室、会議室を中心に好調、プールは個人利用が伸長している。	1,088,326人 (1)新宿スポーツセンター 359,627人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 576,163人 (3)大久保スポーツプラザ 78,466人 (4)元気館 74,070人	(1)スポーツ教室の参加者増により前年度より増加となった。 (2)大雪や選挙会場としての利用の影響があったが、早朝のプール営業による利用者増もあり、前年度とほぼ横ばいとなった。 (3)庭球場改修の影響で前年度より減少した。 (4)大雪や台風による高齢利用者のキャンセルが多かった。	1,074,408人 (1)新宿スポーツセンター 364,474人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 558,910人 (3)大久保スポーツプラザ 77,760人 (4)元気館 73,264人	(1)スポーツ教室の参加者及び個人利用者増により前年度より増加した。 (2)利用団体の規模の縮小により、前年度より減少した。 (3)出張レガスポ事業の実施回数の減により前年度より減少した。 (4)台風など天候不順による高齢利用者のキャンセルが多かった。	966,651人 (1)新宿スポーツセンター 221,358人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 582,384人 (3)大久保スポーツプラザ 86,643人 (4)元気館 76,266人	(1)工事に伴う5か月間の休館の影響により、前年度より利用者数が減少した。 (2)新宿スポーツセンターの一時休館に伴い、プール利用者等を中心に利用者数が増加した。 (3)新宿スポーツセンターの一時休館に伴い、剣道連盟が一時的に多目的ホールを使用したため、利用者数が大幅に増加した。 (4)新宿スポーツセンターの一時閉館に伴い、トレーニングルーム利用者が増加。また、コースプログラムの体験を1クール1回の参加可能とし、現利用者及び一般の方への利用促進を行い、前年度より増加。	(1)(2)(3) 地域振興部 生涯学習スポーツ課 新宿未来創造財団 (4) 健康部健康政策課健康企画係

指標の達成度 生活習慣病の予防

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
適し正飲す酒の推進と喫煙者の減少を促す	6 多量飲酒者の割合(毎日・1日3合以上飲酒)	[40～74歳] 男4.1% 女0.8%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減(男3.7%、女0.7%)	[40～74歳] 男4.6% 女1.0% (平成24年度健診データ)	多量飲酒者の割合は微増しており、達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	[40～74歳] 男4.7% 女0.9% (平成25年度健診データ)	多量飲酒者の割合は横ばいであり、目標達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	[40～74歳] 男4.5% 女1.0% (平成26年度健診データ)	多量飲酒者の割合はほぼ横ばいであり、目標達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	[40～74歳] 男4.9% 女0.8% (平成27年度健診データ)	多量飲酒者の割合は26年度から男性は増加し、女性は減少した。目標値の達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	健康部健康づくり課 健診係
	7 喫煙者の割合 20～39歳 男女別 40～74歳 男女別	[20～39歳] 男35.2% 女14.0% [40～74歳] 男27.4% 女11.7%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減 [20～39歳] 男31.68% 女12.6% [40～74歳] 男24.66% 女10.53%	[20～39歳] 男31.4% 女12.7% [40～74歳] 男26.5% 女11.0% (平成24年度健診データ)	喫煙に対する関心の高まりにより、喫煙者の割合は減少傾向ではあるが、達成は難しい状況である。引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.6% 女13.6% [40～74歳] 男26.2% 女11.0% (平成25年度健診データ)	20～39歳で増加、40～74歳で横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.4% 女11.9% [40～74歳] 男26.1% 女10.9% (平成26年度健診データ)	20～39歳では女性の減少が目立っているが、40～74歳は男女ともほぼ横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男30.6% 女10.8% [40～74歳] 男25.9% 女10.6% (平成27年度健診データ)	26年度から20～39歳、40～74歳で男女ともに減少している。目標値については20～39歳が男女ともに目標値を達成したが、40～79歳については引き続き難しい状況のため、喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	健康部健康づくり課 健診係
糖尿病の予備群・有病者を減らします	8 食べ物の量や組み合わせを考えて食べる人の割合	85.5%	平成23年度区政モニターアンケート	95%	81.7%	23年度と比較すると3.8ポイント下回っている。さらに、食生活に関する正しい情報の普及啓発を行っていく。	83.5%	平成24年度と比較すると、1.8%増加している。引き続き、望ましい食生活に関する情報の普及啓発を行っていく。	84.7%	平成25年度と比較すると、1.2%増加している。引き続き、望ましい食生活に関する情報の普及啓発を行っていく。	88.0%	平成26年度と比較すると、3.3%増加しており、着実に増加している。引き続き、望ましい食生活に関する情報の普及啓発を行っていく。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	追加 1日に必要な野菜の摂取量(350g)を知っている区民の割合	29.1%	平成26年度区政モニターアンケート	45% 〔「中間の見直し」での目標値:40%〕	-	-	-	-	29.1%	〔「中間の見直し」で目標を追加した。〕	36.6% (平成27年度区政モニターアンケート)	平成26年度に行った計画の中間の見直しでは、29年度末の目標値を40%と設定したが、27年度実績が36.6%であったため、目標値を上方修正した。さらに普及啓発を進め、目標達成を目指す。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	9 肥満者(BMI25以上)の割合	[20～39歳] 男25.1% 女7.7% [40～64歳] 男33.1% 女13.2%	平成22年度健診データ	男性:平成22年度比15%減 女性:平成22年度比10%減 [20～39歳] 男21.3% 女6.9% [40～64歳] 男28.1% 女11.9%	[20～39歳] 男24.3% 女8.4% [40～64歳] 男33.6% 女13.3% (平成24年度健診データ)	肥満者の割合は横ばいであり、達成は難しい状況である。食生活に関する知識の普及、保健指導の実施等により肥満者の減少を図る。	[20～39歳] 男21.6% 女6.7% [40～64歳] 男34.0% 女13.7% (平成25年度健診データ)	20～39歳では減少、40～64歳では増加傾向である。食生活に関する知識の普及啓発、保健指導や健康教室の実施等により肥満者の減少を図る。	[20～39歳] 男22.7% 女8.3% [40～64歳] 男32.2% 女14.0% (平成26年度健診データ)	平成25年度と比較すると、20～39歳では男女とも増加、40～64歳では男性は減少、女性は増加傾向である。食生活に関する知識の普及啓発、保健指導や健康教室の実施等による肥満者の減少を図る。	[20～39歳] 男22.5% 女8.4% [40～64歳] 男34.8% 女13.1% (平成27年度健診データ)	平成26年度と比較すると、20～39歳では女性が、40～64歳では男性が増加傾向である。引き続き食生活に関する知識の普及啓発、保健指導や健康教室の実施等により肥満者の減少を図る。	健康部健康づくり課 健診係
	10 糖尿病の予備群・有病者の割合	[40～64歳] [予備群] 男8.2% 女3.8% [有病者] 男9.6% 女3.0%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減 [40～64歳] [予備群] 男7.4% 女3.4% [有病者] 男8.6% 女2.7%	[40～64歳] [予備群] 男6.9% 女4.1% [有病者] 男9.7% 女2.7% (平成24年度健診データ)	糖尿病の予備群の割合は、男性で減少はしているが、達成は難しい状況である。今後、糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発を行う。また、高血糖改善のための保健指導を実施する。	[40～64歳] [予備群] 男5.9% 女2.9% [有病者] 男9.4% 女2.6% (平成25年度健診データ)	平成25年度より予備群の割合は男女とも1.0ポイント以上減少、有病者の割合も微減しているが、目標達成は難しい状況である。引き続き、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、高血糖改善のための保健指導及び健康教室を実施する。	[40～64歳] [予備群] 男6.3% 女3.0% [有病者] 男9.5% 女2.7% (平成26年度健診データ)	平成25年度と比較すると、予備群・有病者の割合は男女とも微増しており、全体としては目標達成に至っていない。引き続き、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、高血糖改善のための保健指導及び健康教室を継続するとともに、糖尿病重症化予防事業等を実施し、目標達成を目指す。	[40～64歳] [予備群] 男6.1% 女2.9% [有病者] 男8.7% 女2.6% (平成27年度健診データ)	平成26年度と比較すると、予備群・有病者の割合は男女とも減少しており、全体としても目標値を達成している。今後も引き続き、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、高血糖改善のための保健指導及び健康教室を継続するとともに、糖尿病重症化予防事業等を実施し、目標達成を目指す。	健康部健康づくり課 健診係

指標の達成度 生活習慣病の予防

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
口腔機能の維持・向上をめざします	11 歯の本数	25.2本	平成22年度新宿区歯科健康診査(60歳)	27本	26.2本 (平成24年度新宿区歯科健康診査:60歳)	目標値を達成。	26.1本 (平成25年度新宿区歯科健康診査:60歳)	目標値を達成。	26.2本 (平成26年度新宿区歯科健康診査:60歳)	当初目標値を達成しているため、目標値を26本から27本に上方修正した。	26.3本 (平成27年度新宿区歯科健康診査:60歳)	平成29年度までに上方修正した新たな目標値の達成を目指す。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	12 糖尿病が歯周病のリスク因子であることを知っている人の割合	-	-	50%	-	24年度は基礎データがないため評価できないが、25年度から、区政モニターアンケート及び歯科健康診査にて、調査を行う予定。	45.3% (平成25年度第1回区政モニターアンケート) 47.1% (平成25年度新宿区歯科健康診査)	引き続き糖尿病と歯周病の関係に関する普及啓発を行っていく。	49.8% (平成26年度新宿区歯科健康診査)	新宿区歯科健康診査の結果ではほぼ目標値を達成。最終年度に再度区政モニターアンケートで調査を行う。	46.4% (平成27年度新宿区歯科健康診査)	引き続き糖尿病と歯周病の関係に関する普及啓発を行っていき、最終年度に再度区政モニターアンケートで調査を行う。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	13 進行した歯周病がある人の割合	[50歳]44.4% [60歳]52.6% [70歳]54.5%	平成22年度新宿区歯科健康診査	[50歳]38% [60歳]46% [70歳]49%	[50歳]48.5% [60歳]52.0% [70歳]52.6% (平成24年度新宿区歯科健康診査)	各年代で目標達成が難しい状況。歯科健康診査の年齢の拡充し、受診機会を増やすことで、目標達成を目指す。	[50歳]46.0% [60歳]53.8% [70歳]52.3% (平成25年度新宿区歯科健康診査)	各年代で目標達成が難しい状況。定期的な健診受診者を増やすことで、目標達成を目指す。	[50歳]50.0% [60歳]46.9% [70歳]56.8% (平成26年度新宿区歯科健康診査)	60歳では目標値に近づいたが、50歳、70歳では目標達成が難しい状況。引き続き定期的な健診受診者を増やすことで、目標達成を目指す。	[50歳]44.7% [60歳]47.9% [70歳]46.9% (平成27年度新宿区歯科健康診査)	50歳、60歳では目標値に近づき、70歳では現時点で目標達成。すべての年齢で目標達成を目指す。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	14 歯間部清掃用具を用いた歯の清掃習慣のある人の割合	54.4%	平成22年度新宿区歯科健康診査	[40～64歳]65%	55.4% (平成24年度新宿区歯科健康診査)	現状では、目標達成が難しい状況。	55.6% (平成25年度新宿区歯科健康診査)	現状では、目標達成が難しい状況。	60.4% (平成26年度新宿区歯科健康診査)	4.8%増加。 29年度までに目標達成を目指す。	54.8% (平成27年度新宿区歯科健康診査)	現状では、目標達成が難しい状況。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係

指標の達成度 がん対策の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
がん予防を推進します	1 がんに関する正しい知識を持っている人の割合	—	—	50%	平成25年度第1回区政モニターアンケート※で調査予定	※区政モニターアンケート(登録依頼に対し、協力同意が得られた18歳以上の方)1000名を対象	「知っている」77.89% 「実践している」45.9% (平成25年度区政モニターアンケートでがん予防対策の12項目のうち、7つ以上知っている(実践している)人の割合)	「知っている」人の割合に比べ、「実践している」人の割合は少ない。正しい知識とともに、生活の中で実践に結び付けられるよう普及啓発を行っていく必要がある。	—	平成26年度はアンケート未実施。27年度に調査予定。	「知っている」92.8% 「実践している」38.7% (平成27年度区政モニターアンケートでがん予防対策の12項目のうち、7つ以上知っている(実践している)人の割合)	「知っている」人の割合は9割を超えているが、「実践している人」の割合は25年度に比べ減少している。正しい知識とともに、自身のことと位置付け、実践に結び付けられるような普及啓発を行っていく必要がある。	健康部健康づくり課 健診係
	2 再掲 喫煙者の割合 20～39歳 男女別 40～74歳 男女別	[20～39歳] 男35.2% 女14.0% [40～74歳] 男27.4% 女11.7%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減 [20～39歳] 男31.68% 女12.6% [40～74歳] 男24.66% 女10.53%	[20～39歳] 男31.4% 女12.7% [40～74歳] 男26.5% 女11.0% (平成24年度健診データ)	喫煙に対する関心の高まりにより、喫煙者の割合は減少傾向ではあるが、達成は難しい状況である。 引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.6% 女13.6% [40～74歳] 男26.2% 女11.0% (平成25年度健診データ)	20～39歳で増加、40～74歳で横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。 引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.4% 女11.9% [40～74歳] 男26.1% 女10.9% (平成26年度健診データ)	20～39歳では女性の減少が目立っているが、40～74歳は男女ともほぼ横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。 引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男30.6% 女10.8% [40～74歳] 男25.9% 女10.6% (平成27年度健診データ)	26年度から20～39歳、40～74歳で男女ともに減少している。目標値については20～39歳が男女ともに目標値を達成したが、40～74歳については引き続き難しい状況のため、喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	健康部健康づくり課 健診係

指標の達成度 がん対策の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課					
がんの早期発見・早期治療を推進します	3 胃がん検診受診率	10.3%	平成22年度検診の実績数値	50%	12.1%	22年度に比べ24年度受診率は全てのがん検診において微増したが、今だ低い状況である。受診率を向上させるためには、まずがん検診に関心をもってもらうことが必要と考えており、今後とも受診率向上に有効な受診勧奨の方法を検討し実行する。	11.0%	24年度に比べ25年度受診率は5つのがん検診において微減、前立腺がん検診において横ばいの状況である。これまでの受診勧奨方法では、受診率向上を目指すことが難しくなってきた。現状を分析し、有効な受診勧奨の方法を検討する必要がある。	11.6%	25年度に比べ26年度受診率は全種がんにおいて上昇した。27年度から新たな受診勧奨も始め、更なる受診率向上を目指す。	12.8%	対象者を算定する「対象人口率」変更の影響もあったが、前立腺がんを除き、26年度に比べ27年度では大幅な受診率の上昇がみられた。28年度から新たに再受診勧奨も実施し、更なる受診率向上を目指す。	健康部健康づくり課 健診係					
	4 大腸がん検診受診率	13.9%		50%	17.0%		16.4%		17.4%		21.3%		健康部健康づくり課 健診係					
	5 肺がん検診受診率	11.9%		50%	12.8%		12.6%		13.3%		18.2%		健康部健康づくり課 健診係					
	6 前立腺がん検診受診率	15.8%		50%	16.9%		16.9%		17.6%		17.1%		健康部健康づくり課 健診係					
	7 子宮がん(子宮頸がん・体がん)検診受診率	15.3%		50%	16.3%		15.6%		17.9%		18.9%		健康部健康づくり課 健診係					
	8 乳がん検診受診率	17.7%		50%	18.2%		17.3%		19.7%		25.6%		健康部健康づくり課 健診係					
	9 胃がん精密検査受診率	40.9%		平成22年度区で把握している実績	70%以上		34.1%		精密検診受診率は低い状況である。その要因として精密検診は保険診療となり、受診費用が区検診に比べ、高いことが挙げられる。区検診で要精密となった方に対して精密検診の重要性を啓発する方法を検討する必要がある。		58.4%		精密検診受診率は目標に対して依然低い状況である。精検を受けられない理由として、多忙、診療費になるため負担増、心理的要因等が挙げられる。要精密となった方に対して、精検の目的と受ける意義を十分に理解してもらおう方法を検討する必要がある。	62.6%	区に結果の報告がない者についての追跡調査の実施により、結果把握が進み、伴って受診率は大幅に向上した。今後も継続して行うことで、把握率の向上に努める。	40.9%(※暫定値)	区に結果の報告がない者についての追跡調査を実施し、受診結果の把握が進んできている。28年度からは、直接、精検検診対象者に、受診勧奨を行うとともに受診結果アンケートを実施し、精検受診率と結果把握率の向上に努める。	健康部健康づくり課 健診係
	10 大腸がん精密検査受診率	22.7%			70%以上		30.5%				57.3%			60.4%		37.0%(※暫定値)		健康部健康づくり課 健診係
	11 肺がん精密検査受診率	34.0%	70%以上		35.6%	71.1%	71.5%	33.4%(※暫定値)		健康部健康づくり課 健診係								
	12 子宮がん(子宮頸がん・体がん検診)精密検査受診率	[子宮頸がん] 35.2% [子宮体がん] 14.3%	70%以上		平成24年度の子宮がん精密検査受診率は平成25年6月20日現在未把握 ※24年度実績 [子宮頸がん]58.8% [子宮体がん]22.6%	25年度の精密検査受診率は平成26年5月30日現在未把握 ※25年度実績 [子宮頸がん]52.2% [子宮体がん]44.4%	子宮頸がん49.6% 子宮体がん57.1%	子宮頸がん13.5% 子宮体がん0.0% (※暫定値)		健康部健康づくり課 健診係								
	13 乳がん精密検査受診率	28.6%	80%以上		27.8%	81.9%	67.0%	47.6%(※暫定値)		健康部健康づくり課 健診係								
	質やがの不安患者を軽減するための療養生活の苦痛	14 「緩和ケア」について知っている人の割合	26.5%	平成22年度新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査	40%	平成25年度新宿区高齢者保健と福祉に関する調査で質問予定	—	24.3%	前回の調査結果と比較して大きな差は見られず、周知状況は横ばいである。性別で見ると女性の方が「知っている」と回答した人が多く、年齢別では65歳から79歳の人が多い。今後、周知方法について検討する必要がある。	—	平成28年度新宿区高齢者保健と福祉に関する調査で質問予定。	平成28年度新宿区高齢者保健と福祉に関する調査で質問予定。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係					

指標の達成度 こころの健康

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課	
こころの健康づくりを支援します	1	ストレスを上手に対処している人の割合	76.2%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	85.0%	平成25年度第1回区政モニターアンケート※で調査予定	※アンケート区政モニター(登録依頼に対し、協力同意が得られた18歳以上の方)1000名を対象	78.6% (平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	平成27年度は実績の集計なし	健康部保健予防課	
	2	十分な睡眠がとれていると思う人の割合	65.5%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	75.0%	平成25年度第1回区政モニターアンケートで調査予定	-	69.5% (平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	平成27年度は実績の集計なし	健康部保健予防課	
援うつ等こころの不調への気づきや早期相談・早期治療を支援します	3	ゲートキーパー養成講座受講者数(累積実数)	731人	平成24年度1月現在累積実数	2,500人	1,238人	平成25もしくは26年度には目標達成見込み。	1,565人	平成25年度末時点で、29年度までの目標は達成済み。	1,856人	平成25年度末時点で平成29年度までの目標を達成したため、目標を当初の1,500人から2,500人に上方修正した。平成29年度までに新しい目標人数の達成を目指していく。	2,132人	中間の見直しで新たに設定された目標(2,500人)について、平成29年度での達成を目指す。	健康部健康政策課 健康企画係
	4	こころの問題について気軽に相談できる場所・窓口を知っている人の割合	37.3%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	70%	平成25年度第1回区政モニターアンケートで調査予定	-	48.4% (平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	平成27年度は実績の集計なし	健康部保健予防課	
	5	精神的に不調になったときにすぐに相談や治療を受けると思う人の割合	28.6%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	50.0%	平成25年度第1回区政モニターアンケートで調査予定	-	34.1% (平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	平成27年度は実績の集計なし	健康部保健予防課	

指標の達成度 女性の健康づくり

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
普設女性を性の整備健康増進に正しく関与する知識の施	1 「女性の健康支援」に関するホームページへのアクセス件数(年間)	1,789件	平成22年度ホームページアクセス数	3,600件	2,203件	24年度は22年度のホームページアクセス件数が、約23%増加した。	5,414件	女性の健康支援センターの開設や事業の拡充に伴い掲載内容を増やしたため、顕著に件数が増加し29年度までの目標は達成した。	8,156	女性の健康支援センター及び事業内容を詳細に掲載したことにより、アクセス数も順調に増加している。	5,714件	引き続き、女性の健康支援センター及び事業内容を詳細に掲載し、平成27年度も目標を達成した。	健康部 四谷保健センター
	2 「女性の健康支援」に関するホームページの情報充実(累積)	1	平成23年度ホームページコンテンツ数	6	1	25年度末の(仮称)女性の健康支援センターの開設と、事業の充実に併せて、ホームページコンテンツ数を増やしていく。	4	女性の健康支援センターの紹介、女性の健康講座、乳がん体験者の会などについての内容を増やした。	10	女性の健康支援事業を詳細に紹介する内容としたり、専門医師による医療情報等のコラムを掲載するなど、コンテンツ数を増やし、内容を充実させた。	10	女性の健康支援事業を詳細に紹介する内容としたり、専門医師による医療情報等のコラムを掲載するなど、引き続き内容を充実させた。	健康部 四谷保健センター
する女性活動を健康増進を支援	3 「女性の健康づくり」に関する自主的な交流活動グループの設立や活動への支援	—	—	2団体	—	平成25年度から自主活動の体制づくりを行い、平成27年度までに、2団体設立する。	1団体	平成25年度に乳がん体験者の会を立ち上げ、会を開催した。	2団体	平成25年度に立ち上げた、乳がん体験者の会を継続し、平成26年度は、女性の健康づくりサポーターの会を立ち上げた。	2団体	乳がん体験者の会と、平成26年度に立ち上げた女性の健康づくりサポーターの会について、継続して運営を行った。	健康部 四谷保健センター
す女性特有のがん対策を推進し	4 再掲 子宮がん(子宮頸がん・体がん)検診受診率	15.3%	平成22年度検診の実績数値	50.0%	16.3%	22年度受診比で1%受診率向上したが、目標値には達していない状況である。受診勧奨の工夫を図る。	15.6%	24年度に比べ25年度の受診率は減少した。受診勧奨方法の見直しと、これまで以上の工夫を図る必要がある。	17.9%	25年度に比べ26年度の受診率は向上した。検診票の一斉発送対象者を拡大したことが要因と考えられる。今後も受診勧奨を継続し、更なる受診率向上を目指す。	18.9%	対象者を算定する「対象人口率」変更の影響もあったが、26年度に比べ27年度では大幅な受診率の上昇がみられた。28年度から新たに再受診勧奨も実施し、更なる受診率向上を目指す。	健康部健康づくり課 健診係
	5 再掲 乳がん検診受診率	17.7%	平成22年度検診の実績数値	50.0%	18.2%	22年度受診比で0.5%受診率向上したが、目標値には達していない状況である。受診勧奨の工夫を図る。	17.3%	24年度に比べ25年度の受診率は減少した。受診勧奨方法の見直しと、これまで以上の工夫を図る必要がある。	19.7%	25年度に比べ26年度の受診率は向上した。検診票の一斉発送対象者を拡大したことが要因と考えられる。今後も受診勧奨を継続し、更なる受診率向上を目指す。	25.6%	対象者を算定する「対象人口率」変更の影響もあったが、26年度に比べ27年度では大幅な受診率の上昇がみられた。28年度から新たに再受診勧奨も実施し、更なる受診率向上を目指す。	健康部健康づくり課 健診係

指標の達成度 食育の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課	
生涯にわたって健康をつくる食習慣を実践します	1	食育に関心を持っている区民の割合	91.5%	平成23年度 区政モニターアンケート	92%	(平成24年度区政モニターアンケート)	92%	(平成25年度区政モニターアンケート)	90.1%	(平成26年度区政モニターアンケート)	91%	(平成27年度区政モニターアンケート)	健康部健康づくり課 健康づくり推進係	
	2	毎日朝食を食べる子どもの割合	92.8%	平成23年度 新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート	93.3%	(平成24年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	93.3%	(平成25年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	91.4%	(平成26年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	91.4%	(平成27年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	健康部健康づくり課 健康づくり推進係	
	3	甘味飲料をほぼ毎日飲む子どもの割合(3歳児)	30.9%	平成22年度 3歳児歯科健康診査	28.6%	平成22年度 (3歳児歯科健康診査)	28.6%	平成25年度 (3歳児歯科健康診査)	28.7%	平成26年度 (3歳児歯科健康診査)	22.4%	平成27年度 (3歳児歯科健康診査)	健康部健康づくり課 健康づくり推進係	
	4	自分で料理を作ったり、手伝いをしたりする子どもの割合	19.1%	平成23年度 新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート	18.1%	(平成24年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	18.1%	(平成25年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	21.1%	(平成26年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	21.4%	(平成27年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	健康部健康づくり課 健康づくり推進係	
	5	消費者講演会・懇談会等への参加者数(年間)	151人	平成22年度 開催実績	180人	170人	24年度は講習会の回数が増えたため、目標人数に近づいた。29年度の目標値は予定通り達成する見込み。	261人	平成25年度末時点で、29年度までの目標は達成済み。	246人	平成26年度末時点で、29年度までの目標は達成済み。	204人	前年度と比較し参加者は減少したが、29年度までの目標は達成済み。	健康部衛生課
食の大切さを見直し、食文化を継承していきます	6	5歳で箸が正しく持てる園児の割合	57.4%	平成23年度 区立保育園・私立保育園・子ども園での実績	59.6%	(区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	食育ボランティアによる保育園での「箸の食育講座」などの取組みを実施。	59.8%	(区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	59.5%	(区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	60.7%	(区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	子ども家庭部保育課 健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	7	食事を残さず食べるようにしている子どもの割合	68.0%	平成23年度 新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート	73.1%	(平成24年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	5%上昇し、目標値に近づいている。	74.4%	(平成25年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	71.4%	(平成26年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	75.3%	(平成27年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	8	東京都産の農産物を3品目以上、学校給食に取り入れている小中学校数(年間)	9校	平成22年度 学校給食実態調査	25校	18校 (平成25年度学校給食実態調査)	着実に増えている。	21校 (平成26年度学校給食実態調査)	前年と比較し、3校増加している。	26校 (平成27年度学校給食実態調査)	28校 (平成28年度学校給食実態調査)	28校 (平成28年度学校給食実態調査)	前年と比較し、2校増加している。目標を達成している。	教育委員会 学校運営課

指標の達成度 食育の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度	達成状況の説明	27年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
シ食を通じたコミュニケーション	9 食育ネットワークを構成する団体数	—	—	12団体	0団体	25年度からネットワークを立ち上げる。	10団体	ネットワーク準備会に出席した団体数。	10団体	ネットワーク準備会に出席した団体数。	19団体	参加団体を固定した会議方式から、誰もが参加できるネットワークに変更したことにより、団体数が10団体から19団体に増加しました。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係
	10 友人、知人などと一緒に食事をする頻度が月2回以上の割合	62.0%	平成23年度 区政モニターアンケート	80.0%	59.4% (平成24年度区政モニターアンケート)	2.6%減少。	63.8% (平成25年度区政モニターアンケート)	4.4%増加している。	63.6% (平成26年度区政モニターアンケート)	0.2%減少している。	62.7% (平成27年度区政モニターアンケート)	0.9%減少し、2年連続の減少となった。	健康部健康づくり課 健康づくり推進係